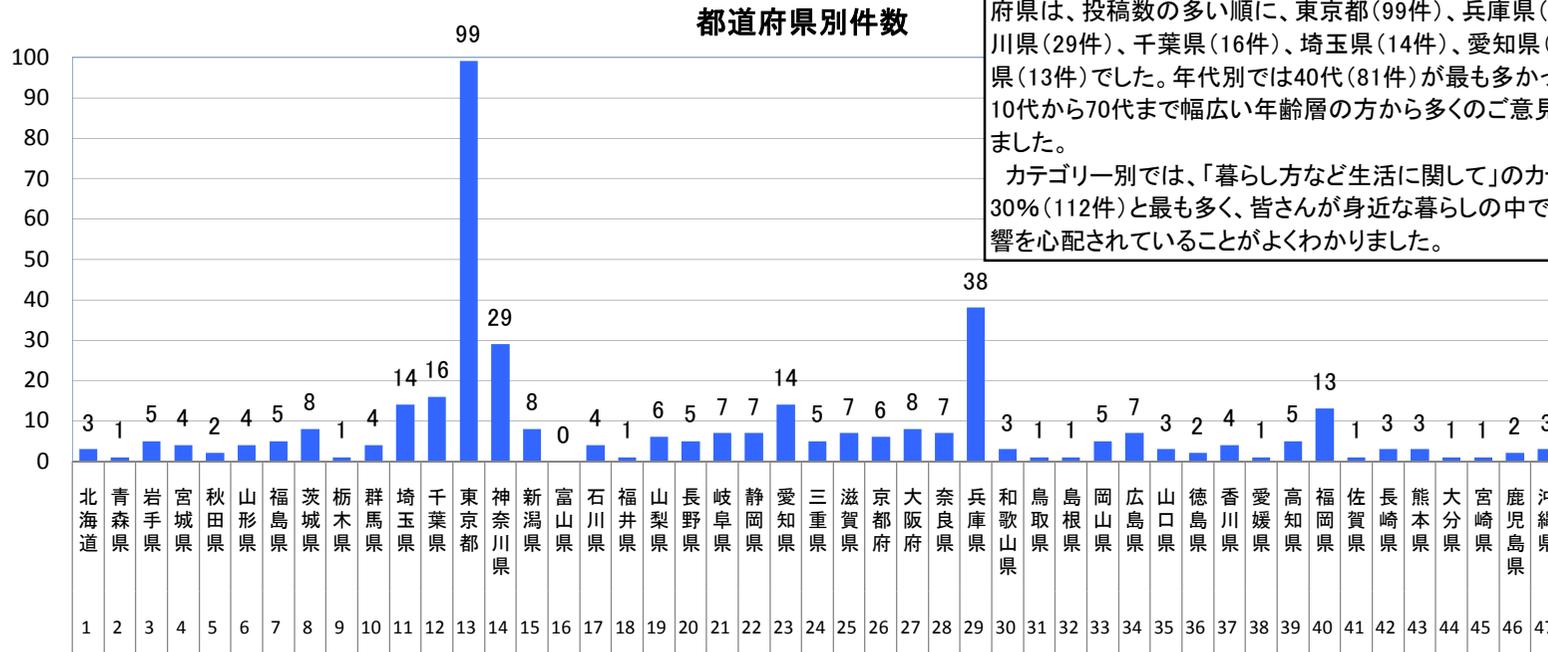
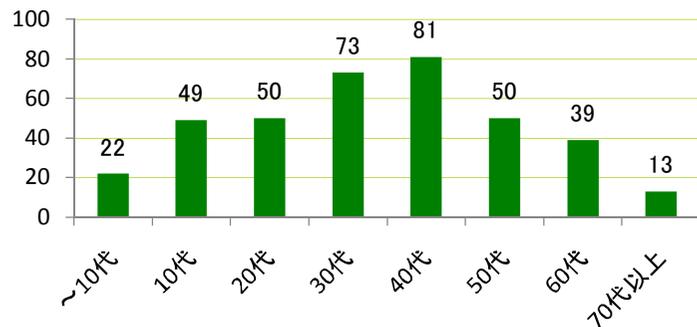


2008年9月30日までに「これって温暖化？」のページに投稿されたご意見は全部で377件ありました。10件以上の投稿があった都道府県は、投稿数の多い順に、東京都(99件)、兵庫県(38件)、神奈川県(29件)、千葉県(16件)、埼玉県(14件)、愛知県(14件)、福岡県(13件)でした。年代別では40代(81件)が最も多かったものの、10代から70代まで幅広い年齢層の方から多くのご意見が寄せられました。
 カテゴリ別では、「暮らし方など生活に関して」の категорияが30%(112件)と最も多く、皆さんが身近な暮らしの中で温暖化の影響を心配されていることがよくわかりました。



年代別件数



カテゴリ

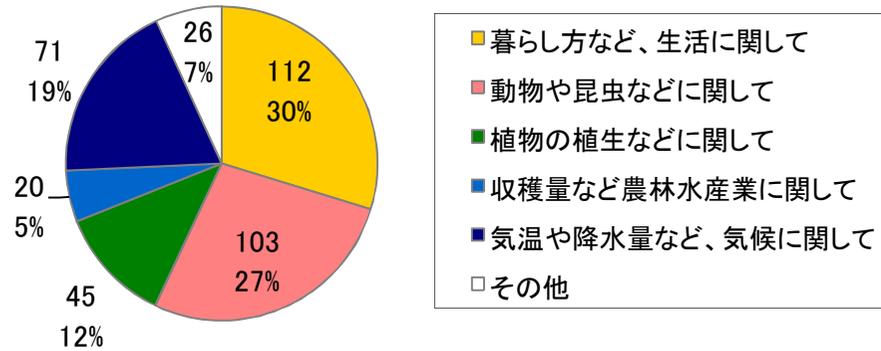


図2-2. 「これって温暖化？」の都道府県別、年代別、カテゴリ別集計結果 (集計データ: 7月1日～9月30日、投稿数377件)

表2-1 「これって温暖化？」投稿内容のキーワード別集計結果

※自由記述の内容から事務局がキーワードを抽出・分類した。分類不能の内容だったものは24件。

生活に関するもの

キーワード	件数
冷房	18
服装	12
旬・季節感	10
熱中症	10
食べ物	5
-	2

気候に関するもの

キーワード	件数
夏の暑さ	44
冬の暖かさ	6
大雨・雷	32
少雪	15
台風	12
結氷・流水	6
少雨	3
-	3

農林水産業に関するもの

キーワード	件数
農業	11
漁業	7
林業	2

動物に関するもの

キーワード	件数	備考	
哺乳類	10	(うちペット4件)	
鳥類	5		
爬虫類	2	(うちペット1件)	
両生類	6	(すべてカエル類について)	
魚類	3	(うちペット1件)	
昆虫類	83	セミ	34
		チョウ	16
		カ	8
		トンボ	4
		害虫	11
		その他昆虫	10
その他無脊椎	5		

植物に関するもの

キーワード	件数	備考	
開花	20	サクラ	11
		その他	9
枯死	6		
越冬	4		
紅葉	3	(うちイチョウ1件)	
その他植物	8		

夏という時節柄、冷房や服装、熱中症など夏の暑さについての内容が多く見られました。また身近なところでは、食べ物の旬や季節感などについてもご意見が寄せられています。

生きものに関しては、夏の調査対象がセミだったこともあり、身近な生きものである昆虫(特にセミやチョウ、カなどの害虫)は皆さんの関心が高いことがうかがえました。また植物では開花(特にサクラ)についての内容が多く見られました。

最近のニュースなどで夏の猛暑、豪雨、台風などの災害が多く報道されていることもあり、こうしたキーワードも注目を集めていることがうかがえました。また寒い地方では、積雪が少ないことや結氷をしないことなど、暖冬を心配する声が多く聞かれました。

また投稿数は少ないものの、農林水産業を営む方々を中心に、興味深いご意見をいただきました。

「これって温暖化？」に寄せられた主なコメント

ここでは「これって温暖化？」に多く寄せられた意見や興味深い指摘などをご紹介します。今後、「みっけ通信」や「みっけにんメールマガジン」を通じて（※）、それぞれのコメントについての専門家のご意見や解説を配信していく予定です。

※「みっけ通信」は「いきものみっけ」ホームページに掲載しています。また「みっけにんメールマガジン」はホームページから「みっけにん登録」をした方に定期的に配信されます。詳しくはいきものみっけホームページをご覧ください (<http://www.mikke.go.jp/>)。

1. 身近な日常生活に関するコメント

中高年の方々を中心に、昔に比べて季節感が変化していると感じているというご意見がたくさん寄せられました。また、衣替えなどの風習や言葉、食べ物の旬などへの影響を感じられている方も多くいらっしゃるようです。衣食住の近代化も影響していると考えられますが、地球温暖化は生物多様性だけでなく、私たちの身近な生活や文化の多様性にも影響を与える可能性があることを示す興味深いご指摘です。

【冬の寒さがやわらいでいる（50代・滋賀県）】

肌を刺すようなとか、身を切るようなといった寒さの表現を忘れてしまいそうなほど、寒さが和らいでいるように思います。耐え難い寒さを体験したことのない次世代は、季節の豊かさをどのように感じていくのか気にかかります。

【季節感がなくなっている（70代以上・鳥取県）】

下手の横好きながら俳句を嗜む者です。句会でもよく話題に上るのは季語と季節の実際が噛み合わなくなっていると言う事でしょう。時代の変遷に限らず、季節が失われていることは我々日本人の精神的土壌の危機であろうと思います。せめて句作を通じて季節を慈しむ心を養いたいと思う所存です。

【こどもの季節感がずれてきている（40代・高知県）】

地域で小学生の遊びクラブを主宰している。鈴虫とかコオロギなんかの秋の虫を秋のものとして認識していなかったのには驚いた。ほかにも桜と梅の季節の区別もついていなかったし、サンマを秋の魚だと思っている子も少なかった。これは温暖化の問題というよりは、自然に触れ合う機会が少なすぎるせいかもしれないが、温暖化も無関係ではないだろう。何より、子どものせいではない。

【糠床が台無し（30代・東京都）】

9年間大事に養生（実家から分けてもらい、専門店の糠を足して手入れ）してきた糠床がこの夏駄目になりました（涙）。高温すぎて異常発酵してしまい、手遅れでした。室温保存という基準はもはや崩れ去っていると思いました。悔やんでも悔やみきれません。

【半袖（30代・愛知県）】

6月と10月といえば、衣替え。でも4月から10月後半まで半袖を着ていることが増えたように思います

【日が落ちて暑さが消えない（50代・茨城県）】

日本には夕涼みという風情ある風習があったが、最近は熱帯夜という言葉のほうがしっくりくる。日没後も暑さは引かず、むしろ暑苦しい不快感のほうが際立っている。昨今の若者のとげとげしい言葉や、突発的な暴力も、この逃げ場のない暑さ息苦しさのせいでは、とつい勘ぐりたくなるのは小生だけだろうか。

2. 生き物に関するコメント

夏の調査対象であるセミをはじめ、昆虫についてのコメントが多く寄せられました。しかし、初鳴きの調査結

果でも傾向がみられましたが、温暖化によってすべての生き物に同じような影響が出るわけではないようです。

たとえば、セミでも種類によって、早く鳴き始めるもの、温暖化の影響を受けにくいもの、逆に遅くなるような種もいるようです。また一日のうち鳴く時間が変化してきている、という指摘もありました。

【セミが鳴くのが遅くなった・・・？（20代・神奈川県）】

いつもなら今ぐらいの時期にはもっとセミが鳴いてたと思うんですが、今年はなんだか少ない気がします。逆にうるさすぎて困るってぐらいの年もありました。

【セミが鳴かない（50代・徳島県）】

毎年梅雨明けとともに、うるさいぐらいのセミの音がするのに、今年はまだ全くセミの声を聞きません。近くの学校でも、神社でも、団地の植木でも。。。地震でも起きるのかとちょっと心配。

【アブラゼミの鳴きはじめが遅い（60代・埼玉県）】

庭の柿の木で例年たくさんのアブラゼミが鳴きます。今年は8月になってやって鳴き始めました。鳴き始める時期が遅く、少ない気がします。

【セミの鳴く時間（30代・東京都）】

子どもの頃は、夏休みに入ると朝～夕方にセミは鳴いていたような気がするのですが、今年は夜～夜中にセミが鳴いています。

セミの他にも、チョウやスズメバチなどの昆虫、カメムシなどの害虫、渡り鳥の来る時期、サルやシカの問題、越冬しないはずの植物が越冬するようになったなど、様々な生き物の変化についてのコメントがありました。こうした変化の背景には、地球温暖化だけではなく、都市化、農村の過疎化、外来生物などさまざまな原因がからみあっていると考えられますが、私たちの身近なところで、今現在も生物多様性の大きな変化が進んでいることが感じられるコメントです。

【ツマグロヒョウモン（50代・群馬県）】

我家の庭で6月に蛹発見、時々庭を飛んでいるのが見られます。昨年までは気がつきませんでした。

【チョウの北上（20代・東京都）】

最近、東京でナガサキアゲハを見かけます。本来の生息地は関西地方までのはずなんですが。

小学生の頃から、クマゼミの鳴き声も聞こえるようになりました。あの頃は、「クマゼミだあ〜」と喜んでいたのですが、今は地球温暖化の影響かなあ〜と思います。

【スズメバチの増加（40代・奈良県）】

スズメバチの巣が民家のすぐ軒下とかで見られるようになった。

【カメムシなど害虫が増えた（40代・山形県）】

コメ農家をやっています。なるべく農薬を使わない農法で米作りをしています。気温が高くなるとカメムシが増えますね。それと実を結ぶ時期に猛暑が続くと、お米が小さく、白っぽくなってしまいます。ここ数年は「しろ田」とよばれるような暑さによる被害というか、ダメージが気になります。

【カメムシとハスモンヨトウの急増（30代・東京都）】

エダマメなどに害虫が大発生しています。ハスモンヨトウは越冬しにくいはずなのですが、どうも関東でも越冬しているようです。

【ミノムシがない（40代・福岡県）】

温暖化の影響かどうかかわからないけど、随分前から「ミノムシ」を見なくなったような気がします。昨年（2007）秋に、久しぶりに我が家の門柱にへばりついているのを発見しました。

【アオバズクもう渡ったかな（50代・千葉県）】

この夏、近くの公園にアオバズクが来ていました。ここ1週間ほど見ていないので、そろそろお帰りになったかな？アオバズクの渡りの時期も変化してきていると思います。次年度は、調査対象にして欲しいです。

【サル出没（40代・東京都）】

近年、軽井沢でもサルが出没して農作物を荒らしたりするようになったそうです。山に食べるものがなくなってきたから、人里に降りてくるのかと思いますが、そうした気候変化は、どうやら一時的なものではなく、年々増える傾向にあり、こういうことも温暖化の影響なのかと思いました。

【南アルプスでシカによる高山植物の被害急増（40代・山梨県）】

南アルプスでは、最近、シカが今までになく標高の高いところまで進出して、高山植物を食べてしまうという異変が起っています。その一つの理由として、温暖化により冬季の積雪が減って、シカが淘汰されなくなったことが挙げられていますが、詳しい原因を明らかにするため、専門家による現地調査が進められています。また、一部の地域にシカの侵入を防ぐ防護柵の設置も行われています。

【ソテツ（50代・兵庫県）】

この2~3年、庭のソテツの葉が年を越しても枯れなくなった。それまでは毎年前年度の葉が枯れて切り取っていた。

【アルストロメリア（40代・東京都）】

南米原産鉢植え宿根草のアルストロメリアが、今冬から冬場も枯れずに冬越しした。

【見たことがない野草が増えている（40代・兵庫県）】

日本のものではないような野草が急激に増えているように思う。温暖な気候の場所に生えているようなイメージの花が野生化しているのかわかりませんが。温暖化というよりは、ガーデニングなんかで外来種の花が増えているせいなのか、ちょっとわかりませんが、印象として。

3. その他のコメント

「何が本当に地球温暖化の影響なのか分からない」「何でも地球温暖化のせいにしていないか」といった意見もありました。

地球温暖化が注目されるにつれて、つい私たちは様々な変化を地球温暖化に結び付けてしまう傾向があります。しかし実際は、自然はとても複雑で、科学的に「地球温暖化が原因である」と証明するのはとても難しいことです。今後の「いきものみつけ」では、先入観にとらわれずに自然の変化をじっくり観察し、本当に自然が変化しているのか、変化しているとすればその原因は何なのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

【どれが温暖化なのかもよくわからない（20代・福岡県）】

毎年夏は猛暑で、冬も暖かくなっていると思う。メディアでも温暖化を報じているので事実なのだと思うが、どれが温暖化現象かといわれると全部のような気もするし、違う気もしてよくわからない。

【なんでもかんでも温暖化のせいにして（50代・大阪府）】

最近の報道傾向に、特にそう思いますが、なんでもかんでも温暖化の影響のせいにしていくような気がしています。「温暖化」という言葉を出すことで報道やニュースや番組が終わってしまう。どんなことでも、何かの事象が起こるとき、それは、それほど単純なものではないはずですが、しかし、その複雑なところを誰も踏み込もうとしない。それは、踏み込めないほど複雑だから、という言い訳が聞こえてくるようにさえ思います。